

+

# 令和3年度 事業実績報告書

令和4年5月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

# 目 次

## ◆早島町社会福祉協議会 令和3年度事業総括 (P.1~7)

- ▶基本理念 (P.1)
- ▶経営理念 (P.1)
- ▶基本姿勢 (P.1)
- ▶社協・事務局重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.2)
- ▶介護事業部 セクション別重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.3~5)

## ◆令和3年度事業実績 (P.6~39)

### ▶活動内容 (P.6~)

#### I. 会務の運営

##### 1. 役職員による法人運営 (P.6~)

- |                    |                              |
|--------------------|------------------------------|
| (1) 理事会の開催         | (5) 役員の先進地視察研修の実施            |
| (2) 評議員会の開催        | (6) 人事管理制度の推進                |
| (3) 評議員選任・解任委員会の開催 | (7) 早島町内社会福祉法人<br>連絡協議会の連携支援 |
| (4) 内部監査の実施        |                              |

#### II. 地域福祉事業

##### 1. 広報事業活動の推進 (P.10~)

- |                              |                    |
|------------------------------|--------------------|
| (1) 社協だよりの発行                 | (4) 早島の匠ミニギャラリーの開催 |
| (2) ホームページによる福祉情報の発信         |                    |
| (3) 地域福祉活動計画の周知 <sup>新</sup> |                    |

##### 2. 会費・寄付・募金の収受 (P.12~)

- (1) 住民会員・会費の募集
- (2) 一般寄付等の受納
- (3) 共同募金運動 (赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金) の推進

##### 3. 新たな“つながり”づくりの支援<sup>新</sup> (P.12)

- (1) 食を通じた新たなつながりづくりの創造<sup>新</sup>
- (2) 子ども食堂の協働開催の検討<sup>新</sup>
- (3) スマートフォン講座の開講と活用支援<sup>新</sup>

4. 住民参画型生活支援活動の支援（P.14～）
  - (1) 外出支援活動の支援
  - (2) 暮らしの応援団活動の支援
  - (3) 暮らしの応援カフェの運営支援
  
5. 福祉活動員活動の支援（P.17～）
  - (1) 福祉活動員協議会活動の支援
  
6. 地区福祉活動の支援（P.18～）
  - (1) 高齢者給食サービス活動の支援
  - (2) ふれあい・いきいきサロン活動の支援
  - (3) 夏季一斉友愛訪問活動の実施
  - (4) 年末大掃除おたすけサービスの実施
  - (5) 地区福祉活動の支援
  
7. 福祉啓発（教育）の推進（P.22～）
  - (1) 夏のボランティア体験の実施
  - (2) 福祉教育への協力支援
  - (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
  - (4) 障がい者作品展の開催
  - (5) 福祉映画会の開催
  
8. ボランティア活動の支援（P.24～）
  - (1) ボランティア保険の加入支援
  - (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
  - (3) ボランティア活動に関する相談・調整
  - (4) ボランティア活動の人材発掘
  
9. 福祉団体活動の支援（P.26～）
  - (1) 福祉当事者団体活動の支援
  - (2) 福祉団体活動の支援
  
10. 在宅福祉サービス事業の実施（P.27～）
  - (1) 福祉有償運送事業の実施
  - (2) 福祉用具貸出サービスの実施
  
11. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助（P.28～）
  - (1) 生活福祉資金貸付事業の実施
  - (2) 日常生活自立支援事業の実施
  
12. 地域福祉センターの管理運営（P.29～）
  - (1) 施設利用の促進

- (2) 備品・用具の貸出
- (3) 施設改修の実施

### Ⅲ. 介護サービス事業

#### 1. 居宅介護支援事業 (P.30～)

- (1) 介護保険-居宅介護支援事業の実施
- (2) 介護保険-介護予防居宅介護支援事業の実施【早島町受託事業】

#### 2. 通所介護事業 (P.32～)

- (1) 介護保険-通所介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護保険外サービス事業の実施
- (4) ボランティア協力(受入)の実施

#### 3. 訪問介護事業 (P.35～)

- (1) 介護保険-訪問介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業の実施
- (4) 介護保険外サービス事業の実施
- (5) 障がい者総合支援-居宅介護事業の実施
- (6) 障がい者総合支援-重度訪問介護事業の実施
- (7) 障がい者総合支援-移動支援事業(外出支援)の実施

## ▶補足／各種地域福祉事業の財源

### 1. 共同募金

#### ◇一般配分金

- ❖社協だより発行 (P.10)
- ❖ホームページによる福祉情報の発信 (P.10)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.17)
- ❖夏のボランティア体験事業 (P.22)
- ❖福祉教育への協力支援 (P.22)
- ❖福祉ボランティアグループ活動の支援 (P.25)

#### ◇特別配分金

- ❖暮らしの応援団活動の支援 (P.15)
- ❖地区福祉活動の支援 (P.21)

#### ◇歳末たすけあい配分金

- ❖社協だより発行 (P.10)
- ❖食を通じた新たなつながりづくりの創造<sup>新</sup> (P.12)
- ❖スマートフォン講座の開講と活用支援<sup>新</sup> (P.13)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.19)

- ❖夏季一斉友愛訪問活動（P.20）
- ❖年末大掃除おたすけサービス（P.21）
- ❖福祉映画会の開催（P.24）
- ❖障がい者作品展の開催（P.24）
- ❖福祉当事者団体活動の支援（P.26）

## 2. ほほえみ基金

- ❖社協だより発行（P.10）
- ❖早島の匠・ミニギャラリー（P.11）
- ❖福祉活動員協議会活動の支援（P.17）

## 3. 地域福祉活動基金

- ❖地域福祉活動計画の周知<sup>①</sup>（P.10）
- ❖暮らしの応援カフェの運営支援（P.16）

## ▶補足／新型コロナウイルス感染症対策

- ❖別紙

### ▶本会の基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくります

### ▶本会の経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

### ▶本会の基本姿勢

本会の健全な発達・伸展を目指すには、透明かつ効率的・省力的な予算執行や優先順位を意識した施策の推進は重要だと考えます。

第4次産業革命社会といわれる現在、住民のニーズも多様化・複合化しています。地域福祉の中核的役割を担う本会においては、世代や分野を超えて住民の皆さんと『丸ごと』つながることをテーマに、関係機関・団体などと協働しながら地域が抱える様々な生活福祉課題の解決を目指すことを目的に具体的な事業展開を図ります。

本会は、第2次早島町地域福祉活動計画『はやしまほっとプラン2』（令和3年度～令和8年度＜6か年計画＞）に着手しました。国が目指す『地域共生社会』の実現に向け、その役割を果たすことができるようこれまでの実績と特性を活かし、行政計画である早島町地域福祉計画との連携を図りながらプラットフォームとしての責任を果たしたいと考えます。

介護保険事業においては、サービス利用者の視点にたった対応を常に心がけ、コロナ禍においても十分な感染症対策を行い安心して本事業所を利用していただけるよう心掛けてまいります。また、純資産の減少となることが懸念される部門については、経営上の課題を真摯に受け止め、収支の改善に努めてまいりますとともに、地域に貢献できる事業を検討してまいります。（令和3年度事業計画書より抜粋）

## ■ 社協・事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
<p><b>1) 第2次地域福祉活動計画の周知と推進</b></p> <p>令和元年度から2か年かけて評価及び見直しを行った民間福祉の行動計画である『はやしまほっとプラン2』に基づく6ヵ年計画内容について、概要版パンフレットを作成し、住民や民間団体への周知と協働の呼びかけを行います。</p> <p>また、同計画推進初年度の取り組みとして、「つながりを求める人」の地域や社会との多様な“つながり”づくりに向け、自治会や福祉団体等の地域住民はもちろん、法人内外の福祉事業所や相談支援機関との協働の事業活動を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度末に同2次計画の策定を完了後、本編を5月に編纂。ホームページ上に公開するも、コロナ禍において、地域や関係機関の会合や行事の多くが中止となり、計画内容周知は難航。新たに作成した概要版冊子を町内全世帯へ配布とホームページに特設ページを開設し、最低限の計画内容の周知を行った。</li> <li>・新たなつながりづくりの取り組みとして、『シニア向けスマートフォン講座』を3期に渡り開講。感染症感染拡大により一部中止となったが受講定員を超える多くのシニア層に好評を得た。また、サポーター募集を通じ、近隣大学や町内ボランティアとの新たな連携も生まれた。</li> <li>・町内2事業所との新たな協働による『子ども食堂』の開設は、年度当初に数回協議を重ねたが、コロナ禍の感染リスクから見通しが立たなかった。(B)</li> </ul>
<p><b>2) 安定した法人運営に向けた働き方改革や業務推進体制の見直し</b></p> <p>休暇取得や超過勤務等の就労状況の検証及び改善を行うべく、各部署の実態把握や課題集約を行い、人員配置基準の明確化や業務基準の見直し、事務業務に特化した在宅勤務の環境整備を進めます。</p> <p>また、更なる地域貢献を進めるべく、法人内の部署間連携による「丸ごと」「我がこと」を進め、横断的な業務推進体制の構築に向けた組織や人員体制の見直しを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作業による勤務チェックを改め、社会保険労務士事務所と共用する勤怠管理システムを導入し、各管理者による効率的な勤怠チェックと就業状況の把握ができる環境を構築した。</li> <li>・既存のネットワークサーバーの機能活用と安価なコミュニケーションツールの導入により、事務相談業務の在宅勤務や、館内において密集を避ける分散勤務を可能とする環境を整備し、同居家族等の感染症罹患時にも柔軟に対応できた。</li> <li>・介護部署でも地域貢献を部署目標化し、地域の福祉活動や福祉教育に携わる機会を設け、事務局協働で地域貢献を進めた。</li> <li>・人員体制の見直しを行い、人事異動（内部異動）を行った。(B)</li> </ul>

＜達成度基準＞ A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	<p><b>1) 専門性を活かした地域へのアウトリーチ活動の実践</b></p> <p>停滞する地域の交流活動の活性化と地域におけるニーズ把握の機会とするため、地域の「集いの場」に参加し、専門職としての知識や経験を活かしたプログラム提供と、制度説明や生活課題の相談に応じます。また、事務局と協働し、民生委員や福祉活動員を中心とした「見守り」や「支え合い」の支援活動の充実に向けた研修や会合への参画と、地域と連携した個別支援を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により給食サービス活動の中止もあったが、プログラム提供（計16回）を行う。部署の正職員全員が地域の集いに主体的に参加することにより、事業所の広報に努めた。レクリエーションや専門的内容をクイズ形式でわかりやすく提供することに努めた。</li> <li>・見守り推進会議において、認知症高齢者夫婦世帯への支援事例を発表する予定で準備を進めていたが、コロナ禍で延期となった。個別支援においては、民生委員や地区福祉活動の担当者らと適宜連携を図った。（B）</li> </ul>
	<p><b>2) 広報活動の充実化とICT機器を活用した業務改善</b></p> <p>制度のみならず、住民協働の個別支援を特徴とする本事業所広報を充実させ、地域に出向いた広報活動を展開することにより、地域に根差した事業所のPRと新規利用者の獲得を目指します。また、事業所広報や地域訪問の充実に必要な時間を確保するためにもケース記録のペーパーレス化やICT活用の促進による業務の効率化と、それに伴う内部の運営ルールを整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の異動があったため、新規利用者の相談受け入れの中止期間があった。そのため、広報活動を積極的に行わず。給食サービス活動へのプログラム提供時に事業所PRを行った。</li> <li>・ケース記録のペーパーレス化は行ったが、全職員で統一ができておらず、習慣化に課題が残った。</li> <li>・業務スケジュールや部署定例会をオンラインで情報共有した。</li> <li>・コロナ禍で自宅や病院へ訪問が出来ない時にカンファレンスや面談をオンラインで行った。（C）</li> </ul>
	<p>＜運営状況総括＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定者の契約締結は43件（前年度▲2件）、契約解除は65件（前年度+9件）、月平均請求は157件（前年度▲13件）。契約解除件数の内訳は、入所18件、永眠22件、長期入院10件、軽度化（要支援）が13件。</li> <li>・要支援認定者は新規に9件受入れ。13件が契約解除し、内7件が重度化（要介護）、他は受託元へ移管等。</li> </ul> <p>∴令和3年度収支差引額：▲87千円（令和2年度収支差引額：439千円）</p>	

＜達成度基準＞ A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）  
 B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）



	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	<b>1) 地域貢献活動の推進と住民協働の事業展開</b> 社会福祉法人の連絡協議会「ほっとけんネット早島」に加盟する事業所として、事務局と協働し、地域貢献に向けた具体的な取り組みを推進します。まずは、地域で行われる「集いの場」での職員の経験や知識を生かした技術や情報の発信と、保有する備品や車両等の資材の提供により、町内団体の活動支援を行ないます。 また、館内で行われる住民活動へ参画するとともに、水害・火災等の避難訓練へ住民参画を得るなど、住民協働の事業展開を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 正規職員が交代で給食サロンに参加しデイサービスで行なっている体操や簡単なレクリエーション、嚥下体操などを紹介した。また、地域のサロングループにレクリエーション用品の貸し出しや、サロンや町の体操教室の送迎にデイサービス保有の車両の貸し出しを行なった。サロン活動は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い実施自体が中止される期間もあったため回数は少なかったが、全職員の参加し、各自の経験や知識を活かせる活動が出来た。</li> <li>• 避難訓練実施時期と新型コロナウイルス感染症の県内での流行が重なり、地域住民への参加協力を見合わせた。(B)</li> </ul>
	<b>2) 広報活動強化による収支状況の改善</b> 事業所の特徴やサービス内容を積極的に発信する事により、事業所に親しみや魅力を感じていただくことで、新規利用者を獲得すべく、事業所パンフレットの作成周知や、広報誌及びホームページ内容の充実化、SNS等による新規利用者の獲得と、令和3年度から算定された加算の積極的な取得による収入増に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規利用者は前年度よりわずかに増加したものの、短期間で利用終了となるケースが多かった。</li> <li>• 他事業所居宅への営業活動や包括支援センターに広報用のチラシと空き状況を毎月知らせた。給食サロンへもチラシを配った。いずれも取り掛かり時期が遅かったことと新型コロナウイルス感染症の流行によりサロン活動が中止となり新規獲得につながらなかった。</li> <li>• 令和3年度から新たに設けられた入浴加算Ⅱは算定したが該当者が少なく、L I F Eは登録と個別情報収集に留まった。(C)</li> </ul>
	<b>&lt;運営状況総括&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通所介護と総合事業対象者をあわせた1日あたりの平均利用者数は23.6人（前年度比▲2.9人）</li> <li>• 新規利用者が短期間で終了となるケースが多かった。介護度が高い利用者や利用回数の多い利用者の終了が続いたことによる減収。</li> </ul> ∴令和3年度収支差引額：▲10,051千円（令和2年度収支差引額：▲3,563千円）	

<達成度基準> A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）  
 B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	<b>1 福祉教育を中心とした地域貢献活動の推進</b> 社会福祉法人の連絡協議会に加盟する事業所として、事務局と協働し、地域貢献に向けた具体的な取り組みを推進します。まずは、福祉教育や福祉学習の場へ出向き、訪問介護による高齢者や障がい者支援の様子や支援の必要性の理解促進を図ります。 また、民間事業所協働の「子ども食堂」開設検討に加わり、運営に係る本事業所の役割を見出します。	小学校の福祉学習では、複数回に渡り、車イス体験のサポートや視覚障がい者、聴覚障がい者の日常生活の様子や工夫、支援の様子を伝え、理解の促進を図った。また、中学生の福祉学習では、ヘルパーが行っている高齢者や障がい者の支援の様子やポイントを伝え支援の必要性や理解の促進を図った。 「子ども食堂」については、新型コロナウイルス感染症の影響で、具体的な開設検討の場がなかった。(B)
	<b>2 事務の効率化と広報活動強化による収支改善</b> 介護支援ソフトの有効活用や新たな情報共有媒体の活用検討により、定期的な事務や訪問に係る指示報告業務の効率化を図ります。さらに、常勤訪問介護員と登録訪問介護員の職責や役割に応じた訪問調整のあり方を見直し、人件費の圧縮を図ります。 また、事業所パンフレットの更新や近隣の居宅介護支援事業所への営業活動を行うとともに、SNS等による定期的な情報発信の習慣化を行い、新規利用者の獲得に努めます。	介護支援ソフトを活用し、登録ヘルパーの賃金支給事務時間の短縮を行った。指示報告業務は、同ソフトでの対応が難しく、別システムの検討や費用が必要であり、継続課題となった。 また、人件費の圧縮のため訪問調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策や、常勤の公休日調整などの理由から思うような効果は表れなかった。 パンフレットやホームページ等の更新は出来なかったが、新規利用者獲得のためサービス提供可能時間帯を一覧表にしたチラシを作成し6月から近隣の居宅介護支援事業所等に配布した。その結果、新規利用者が21名あった。(C)
	<b>〈運営状況総括〉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規契約が27件あったが、中止・死亡・入所された方が26件あった。新規利用者は前年度より3件増加した。</li> <li>介護保険サービスでは、介護保険事業の死亡等の利用終了のうち毎日身体介護で関わっていた利用者の終了の影響し、訪問回数が前年度比192回減となり大幅な減収となった。総合事業は昨年度と同等だった。</li> <li>障害福祉サービスでは、移動支援が昨年度と同等、居宅介護はサービス提供可能時間帯を配布が功を奏し、7名新規利用者を受け入れたことや年度末にサービスの追加があったことによりやや増加傾向となった。</li> <li>介護保険外サービス事業では、定期利用者数に変化はなかったが、訪問回数が昨年度と比べ37回増加した。</li> </ul> ∴令和3年度収支差引額：▲3,285千円（令和2年度収支差引額：▲4,734千円）	

<達成度基準> A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満） C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）  
 B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満） D：目標をかなり下回る（80%未満）

## ◆令和3年度事業実績

### I. 会務の運営

#### 1. 役職員による法人運営

##### 〔1〕理事会の開催

###### (1) 要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、理事会5回を開催した。
- ∴本会の事業計画（1議案）および予算（当初予算1議案、補正予算4議案）、事業報告（1議案）及び決算報告（1議案）、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件（9議案）について協議した。

###### (2) 実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和3年6月4日（金） ／理事10名（11名） ／監事2名（2名）	◇令和2年度事業実績報告について ◇令和2年度一般会計収支決算報告について ◇評議員選任候補者の推薦について ◇評議員会に諮る役員（理事）候補者の選定について ◇令和3年度一般会計第1次補正予算（案）について ◇報告事項 ・第2次早島町地域福祉活動計画について ・在宅勤務の運用開始について ・感染症防止対策委員会設置規程について
令和3年6月18日（金） ／理事10名（11名） ／監事2名（2名）	◇会長の選定について ◇副会長の選定について ◇評議員選任・解任委員会の選定について ◇常務理事の指名について
令和3年12月6日（月） ／理事11名（11名） ／監事2名（2名）	◇令和3年度一般会計第2次補正予算（案）について ◇令和3年度就業規則の一部を改正する規則（案）について ◇令和3年度懲罰委員会規程の一部を改正する規定（案）について ◇報告事項 ・職員の懲戒処分に関する基準の改正について ・令和3年度 財政援助団体監査の実施について ・赤い羽根共同募金運動の実績報告について ・生活福祉資金貸付事業相続状況について ・株式会社ビスワーク委託契約について ・社会福祉協議会の動きについて

令和4年1月31日（月） ／理事11名（11名） ／監事 2名（2名）	◇一般会計第3次補正予算（案）について ◇定款の一部変更（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・早島町居宅介護支援センター事業内容の変更について</li> <li>・早島町デイサービスセンター職員（1名）の兼務辞令の交付について</li> <li>・令和3年度年末大掃除おたすけサービス実施報告について</li> <li>・令和3年度「ヤクルト愛の車いす」の贈呈決定について</li> <li>・令和3年度「やさしい心をつなぐ作品展」出展者の表彰について</li> </ul>
令和4年3月22日（火） ／理事10名（11名） ／監事 2名（2名）	◇一般会計第4次補正予算（案）について ◇事業計画（案）について ◇一般会計当初予算（案）について ◇定款細則の一部変更（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次早島町地域福祉活動計画について</li> <li>・共同募金運動の実績報告について</li> <li>・生活福祉資金貸付事業相談条項について</li> <li>・その他 社会福祉協議会の動きについて</li> </ul>

## 〔2〕評議員会の開催

### （1）要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、評議員会3回を開催した。
- ∴本会の事業計画（1議案）および予算（当初予算1議案、補正予算4議案）、事業報告（1議案）及び決算報告（1議案）、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件（3議案）について協議した。

### （2）実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
書面審議期間 令和3年6月10日（金） から令和3年6月17日（金） 議決日 令和3年6月18日 ／21名（書面議決）	◇令和2年度事業実績報告について ◇令和2年度一般会計収支予算報告について ◇令和3年度役員（理事・監事）の選任について ◇令和3年度一般会計第1次補正予算（案）について
令和3年12月20日（月） ／14名（21名）	◇令和3年度一般会計第2次補正予算（案）について ◇令和3年度就業規則の一部を改正する規則（案）について ◇令和3年度懲罰委員会規程の一部を改正する規程（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の懲戒処分に関する基準の改正について</li> <li>・令和3年度財政援助団体監査について</li> <li>・令和3年度共同募金運動の実施状況について</li> <li>・生活福祉資金貸付事業相続状況について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤怠管理業務の見直しについて</li> <li>・年末大掃除おたすけ活動実施計画について</li> <li>・令和3年度福祉教育（出前福祉講座）の実施状況について</li> <li>・令和3年度福祉映画会の実施結果について</li> <li>・早島町要保護児童対策地域協議会について</li> <li>・令和3年度第2回早島町包括ケア懇話会について</li> <li>・令和3年7月～12月早島町社協行事予定</li> </ul>
令和4年3月29日（火） ／17名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇一般会計第3次補正予算（案）について</li> <li>◇一般会計第4次補正予算（案）について</li> <li>◇令和4年度事業計画（案）について</li> <li>◇令和4年度一般会計当初予算（案）について</li> <li>◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次早島町地域福祉活動計画について</li> <li>・共同募金運動の実績報告について</li> <li>・生活福祉資金貸付事業相続状況について</li> <li>・その他 社協の動きについて</li> </ul> </li> </ul>

### 〔3〕 評議員選任・解任委員会の開催

#### （1）要 点

- ・本会の定款に基づき、評議員選任・解任委員会 1 回を開催した。
- ∴理事会において推薦された評議員候補者（5名）について審議し、選任した。

#### （2）実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和3年6月4日（金） ／委員3名	◇評議員の選任について

### 〔4〕 内部監査の実施

#### （1）要 点

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、監事会 1 回を開催した。
- ∴本会の事業実績報告書により業務執行状況を、決算書及び諸帳票により財務状況の監査を実施し、問題がなかったため監査報告書を作成した。

#### （2）実施結果

開催日／出席数	決 議 事 項
令和3年5月27日（木） ／監事2名	◇令和2年度事業実績状況（報告書）の監査 ◇決算（書）及び諸帳票の監査

### 〔5〕 役員の先進地視察研修の実施

#### （1）要 点

- ・他市町村の住民主体の地区福祉活動先進地を視察し、本町における地区福祉活動のあり方を検討する機会とするため、住民福祉関係者と合同で先進地社協へ視察研修を行っている。

#### （2）実施結果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した。

## 〔6〕人事管理制度の推進

### (1) 要 点

- ・平成25年度から開始した人事管理制度の円滑な推進の為、第三者（コンサルティング会社）の助言を受けながら、人事管理制度運用検討会を6回行った。
- ∴コロナ禍において、各事業停滞から組織内の新たな取り組み協議はできなかった。

### (2) 実施結果

#### ◇人事管理制度運用検討会（全6回）

開催日／出席者数	協 議 事 項
令和3年 8月30日（月） ／5名	◇目標進捗状況の共有
令和3年 9月23日（木） ／3名	◇法人内の課題整理と今後の検討会のあり方について
令和3年12月16日（月） ／9名	◇半期決算分析について
令和3年12月23日（木） ／8名	◇考課者研修（考課者や面接者の心得・ケーススタディー）
令和4年 2月16日（月） ／5名	◇人事評価集計結果の調整
令和4年 3月23日（水） ／4名	◇人事評価集計結果の最終調整 ◇フィードバック面接の進め方の共有 ◇次年度の事業計画及び予算の共有

## 〔7〕早島町内社会福祉法人連絡協議会の連携支援

### (1) 要 点

- ・社会福祉法改定に伴い、町内の社会福祉法人の連携組織の事務局として、同協議会活動の支援を行った。
- ∴年度当初に総会を開催したが、以降は、コロナ禍での各施設での感染防止対策の強化が優先され、法人間での十分な協議ができなかった。
- ∴新規事業として、貸出用業務車両保有法人間で実施要綱を作成し、青少年育成団体活動への車両貸出を開始した。

### (2) 参加法人名（運営施設名）

- ①社会福祉法人 戸川児童福祉会（早島保育園）
- ②社会福祉法人 中野社会福祉協会（かんだ保育園・わかみや保育園）
- ③社会福祉法人 敬仁会（特別養護老人ホーム白亜館・デイサービスセンター白亜）
- ④社会福祉法人 リンク（早島地域生活支援センター・ヒトノワ・With 広場早島）
- ⑤社会福祉法人 早島町社会福祉協議会（事務局・居宅介護支援センター・デイサービスセンター・ホームヘルパーステーション）

※④「社会福祉法人 リンク」は、オブザーバーとして参画。

### (3) 実施結果

開催日／出席者数／会場	協 議 事 項
令和3年 4月15日（木） ／13名／オアシス早島	総会 ◇令和2年度事業報告及び決算について ◇令和3年度事業計画及び予算について

## Ⅱ. 地域福祉事業

### 1. 広報事業活動の推進

#### 〔1〕社協だより発行

##### (1) 要点

- ・町民に対する社協活動や住民福祉活動等の情報提供手段として、広報誌「はやしま社協だより」を年4回発行。
- ∴部署により情報発信に差があるが、福祉啓発の根本となる広報の重要性を全体で再共有する必要がある。

##### (2) 発行実績

- ◇第121号(夏号) 令和3年 6月下旬発行(5,200部)
- ◇第122号(秋号) 令和3年10月下旬発行(5,200部)
- ◇第123号(新春号) 令和3年12月下旬発行(5,200部)
- ◇第124号(春号) 令和4年 3月下旬発行(5,200部)

#### 〔2〕ホームページによる福祉情報の発信

##### (1) 要点

- ・ホームページSNSにより、本会の事業活動や町内の福祉活動の情報発信を行った。
- ∴本会ホームページへのアクセス性の向上を図るため、パソコンでの表示に加え、スマートフォン画面での閲覧を可能とする機能改定を行った。
- ∴第2次早島町地域福祉活動計画(ほっとプラン2)の内容周知に向け、同計画特設ページの改定を行った。
- ∴町内の福祉活動や本会の事業活動をFacebookによるリアルタイムな発信を心掛けるも、コロナ禍による行事の激減に伴い、発信件数が減少した。
- ∴部署により情報発信の差や継続性に欠け、改めて福祉啓発の根本となる広報の重要性を全体で再共有する必要がある。

##### (2) 実施結果

○Facebook 年間投稿記事数

発信部署	発信件数(前年度比)
事務局	31件(▲22件)
居宅介護支援センター	1件(▲4件)
デイサービスセンター	7件(+2件)
ホームヘルプステーション	0件(±0件)
合計	39件(▲24件)

#### 〔3〕地域福祉活動計画の周知(新)

##### (1) 要点

- ・民間の福祉活動行動計画である地域福祉活動計画(ほっとプラン)の2次計画書の編纂作業を行う。
- ・地域の住民福祉団体・地縁組織や保健・医療・福祉関係機関等へ同計画の周知を行う。
- ∴5月の計画本編の編纂を終え、年度末までに概要版作成と全戸配布による計画内容の周知を行った。

∴2次計画内容の発表の場として予定していたフォーラムが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず、その代替として本会ホームページの特設頁の改定を行い、計画内容の周知を図った。

(2) 実施結果

- ・第2次早島町地域福祉活動計画「はやしまほっとプラン2」本編の編纂。
- ・第2次早島町地域福祉活動計画「はやしまほっとプラン2」概要版の作成（10,000部）と町内全戸配布。
- ・第2次早島町地域福祉活動計画「はやしまほっとプラン2」の本会ホームページへの特設ページの設置。

#### 〔4〕早島の匠ミニギャラリーの開催

(1) 要 点

- ・地域福祉センターオアシス早島1階ロビーを活用し、町内住民やグループによるミニ作品展を開催している。

(2) 実施結果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した。

## 2. 会費・寄付・募金の収受

### 〔1〕住民会員・会費の募集

(1) 要 点

- ・社会福祉に関心を有し、本会の趣旨・事業に賛同した個人又は団体等の会員を募るものである。本年度の結果は下記のとおりとなった。
- ∴特定団体からの会費であり、広く会費を募集する方法を検討する必要がある。

(2) 実施結果

区 分	会員数	□ 数	金 額
賛助会費・団体	34件	1□	68,000円
合 計	34件	1□	68,000円

### 〔2〕一般寄付等の受納

(1) 要 点

- ・一般寄付・満中陰志を受納し、その寄付金を地域福祉推進のための事業を実施するほほえみ基金事業の原資となる基金へ積立てを行った。
- ∴一般寄付は4件（前年度比▲1件）、満中陰志13件（前年度比+7件）となった。

(2) 寄付金実績

区 分	件 数	金 額
一般寄付	4件	118,684円
満中陰志	13件	260,000円
合 計	11件	378,684円



### 〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会-早島町共同募金委員会事務）

#### （1）要 点

- ・地域福祉の推進という目的のもと、共同募金の役割や使い道の周知を図り、「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに様々な募金活動による呼びかけを行う。また、共同募金の適正かつ効果的な助成や配分により、地域課題の発見や新たな支え合い構築など福祉活動を支援する。
- ・共同募金運動の募金実績総額は、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金いずれも前年度より減額となった。募金種別で法人募金の減額は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が影響を与えていることが想定される。

#### （2）実施結果

##### ①赤い羽根共同募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	1,025,710円	17,295円
街頭募金	10,748円	6,485円
学校募金	46,162円	1,910円
個人募金	8,480円	▲15,520円
法人募金	313,877円	▲51,537円
イベント募金	0円	0円
職域募金	83,880円	▲76,984円
その他の募金	52,474円	▲18,169円
通帳利息	0円	▲16円
募金資材原価	▲51,915円	▲18,651円
	1,489,416円	▲151,171円

##### ②歳末たすけあい募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	941,774円	▲10,637円
個人募金	0円	0円
その他の募金	0円	0円
通帳利息	0円	▲1円
	941,774円	▲10,638円

##### ③共同募金運動推進活動

開催日	行事名	募金実績
令和3年10月1日（金）	早島駅前街頭募金	6,815円
令和3年10月1日（金）	マルナカ早島店前街頭募金	3,933円

## 3. 新たな“つながり”づくりの支援新

### 〔1〕食を通じた新たなつながりづくりの創造(新)

#### （1）要 点

- ・早島町社会福祉法人連絡協議会『ほっとけんネット早島』の事務局として、生活に困窮する方へ向けた「フードバンク活動」の充実化と、活動を通じた生活困窮者の生活課題の把握と関係機関と連携した支援を行う。

- ∴早島町町民課の進めるごみ減量化を目的としたフードドライブ活動と連携し、町内の社会福祉法人からと同様に、同課で集めた食材を地域福祉センターで管理し、生活困窮者へ配布する流れを確立する。
- ∴生活困窮者からの生活物資の要望に応ずるべく、支援物資の保管場所を地域福祉センター中庭に設置した。

## (2) 実施結果

### ①寄付受付数

分類	実績（内訳）
寄付受付回数	77回（内、早島町町民課フードドライブ活動より34回受付）
食品受付数	762点（内、早島町町民課フードドライブ活動より125点受付）
寄付者数（団体）	8団体（早島町町民課、白亜館、早島保育園、かんだ保育園、わかみや保育園、早島幼稚園、早島小学校、早島町社会福祉協議会）
寄付者数（個人）	19名（町内16名、町外3名）

### ②利用申込数

分類	実績（内訳）
利用申込回数	177回
食品提供数	1,787点
実利用者数	23名（内19名が継続利用）

## 〔2〕子ども食堂の協働開催の検討<sup>新</sup>

### (1) 要 点

- ・子どもの居場所づくりを目的とした「子ども食堂」の開催に向け、町内の支援機関や団体との協議・協働の場を設け、試行的活動を行う。

### (2) 実施結果

- ・町内の民間事業所2団体（株式会社キッカワ、株式会社ヤマト）と、先行して町内『いかしの舎』で開催されている「子ども食堂」の下見や、協働開設の可能性や役割分担を協議したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施自体の見通しが立たない状況となった。
- ∴町内民間事業所との協働実施の場合の各法人の強みを把握することができた。会食が可能な社会状況となれば、教育現場へのニーズ調査と岡山県等の公的財源支援の調整により、開設の可能性を残した。

## 〔3〕スマートフォン講座の開講と活用支援<sup>新</sup>

### (1) 要 点

- ・急激に普及が進むスマートフォンの操作習得支援の機会を創出し、シニア層の情報格差（デジタルデバイド）の解消を図るとともに、受講生を中心としたデジタルによるつながりづくりの支援を行う。
- ∴スマートフォン操作のレベルを設定し、「入門編」「初級編」「特別編」各3回を

1クールとして3期計画実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画時期から一部変更や第3期は中止せざるを得なかったが、延べ259名が講座を受講修了した。

- ・第2次早島町地域福祉活動計画に基づく「学生等と連携したSNSによるつながりづくり」の有効性を検証すべく、公立大学法人岡山県立大学と共同研究契約を締結。同大学健康福祉部・岩満賢次教授との講座の評価測定を行った。
- ・講座の主講師のサポーター役を同大学学生や町民から募る。講座の「番外編」としてサポーター養成講座を開講し、延べ69名のサポーターの参画を得た。

## (2) 実施結果

開催日	分類	受講者数	サポーター数
令和 3年 7月19日(月)	第1期入門編第1回	14名	2名
令和 3年 7月26日(月)	第1期入門編第2回	14名	2名
令和 3年 8月 2日(月)	第1期入門編第3回	12名	2名
令和 3年10月 4日(月)	第1期特別編第1回	13名	0名
令和 3年10月11日(月)	第1期特別編第2回	12名	3名
令和 3年10月12日(火)	第2期番外編第1回	8名	-
令和 3年10月18日(月)	第1期特別編第3回	12名	4名
令和 3年10月18日(月)	第2期番外編第2回	12名	-
令和 3年10月25日(月)	第2期番外編第3回	10名	-
令和 3年10月26日(火)	第1期初級編第1回	17名	0名
令和 3年10月27日(水)	第1期初級編第2回	18名	2名
令和 3年10月28日(木)	第1期初級編第3回	18名	1名
令和 3年11月 8日(月)	第2期初級編第1回	19名	10名
令和 3年11月15日(月)	第2期初級編第2回	18名	12名
令和 3年11月22日(月)	第2期初級編第3回	16名	11名
令和 3年11月30日(火)	第2期特別編第1回	16名	8名
令和 3年12月 7日(火)	第2期特別編第2回	17名	7名
令和 3年12月14日(火)	第2期特別編第3回	13名	5名
講座開催数：18回		延べ259名	延べ69名

※令和4年1月から2月にかけて予定していた「入門編」「初級編」各3回講座が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

## 4. 住民参画型生活支援活動の推進

### 〔1〕外出支援活動の支援

#### (1) 要 点

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、平成27年度末から開始した町内の高齢者や障がい者の社会参加の促進を目的とした外出支援活動の検討を継続実施。
- ・福祉有償運送事業とサロン活動や給食サービス活動参加者の送迎活動について実施状況の共有を行った。
- ・給食サービス活動の送迎は、10月から依頼団体が1団体増加（ひまわり会）。

∴新型コロナウイルス感染防止対策で、給食サービス活動が2度に渡り中止となり、延べ運行回数は減少した。

(2) 外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
令和 3年 4月19日(月)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 5月18日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 6月29日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年 7月20日(火)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和 3年 8月24日(火)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和 3年10月 1日(金)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年10月20日(金)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年11月29日(月)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 3年12月21日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 4年 1月25日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 4年 3月 7日(月)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
令和 4年 3月28日(月)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動

(3) 利用状況等実施結果

○給食サービス利用者送迎実績

利用団体：7団体（前年度比+1団体）

延べ運行回数：158回（前年比▲36回）

## 〔2〕暮らしの応援団活動の支援

(1) 要 点

・ゴミ出しや買い物支援など、高齢者世帯等における生活課題に対応すべく、住民主体の生活支援活動団体の活動の充実を図る検討や調整、活動者募集を行った。

∴町域での定期活動延べ利用件数（前年度比+186件）及び不定期活動延べ利用件数（前年度比+14件）がそれぞれ前年度から増加した。

(2) 生活支援活動実績

○定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
ゴミ出し	12名	426件	5名	426名	原則：可燃物
買い物代行	1名	27件	2名	27名	独居高齢
食事づくり	0名	0件	0名	0名	
話し相手	0名	0件	0名	0名	
合 計	13名	453件	7名	453名	

○不定期活動

支援内容	実利用者数	延べ利用件数	実活動者数	延べ活動者数	備 考
付添い支援	0名	0件	0名	0名	買い物・病院
家屋内整理掃除	5名	5件	12名	14名	不要物分別・搬出等
家屋等修繕	5名	7件	4名	10名	電灯取替・天井引戸修理等
庭・植栽整備	5名	6件	12名	20名	草刈り、植栽伐採等
合 計	15名	18件	28名	44名	

○地区活動（買い物サロン）

地区名	延べ購入者数	開催回数	実活動者数	延べ活動者数	備考
金田	365名	50回	5名	110名	水曜日
塩津	659名	50回	5名	184名	水曜日
長津	137名	50回	1名	2名	水曜日
片田	321名	50回	2名	96名	火曜日
ニュー早島	167名	50回	2名	31名	水曜日
備南台	213名	50回	1名	47名	水曜日
真磯台	499名	50回	4名	185名	水曜日
樽島	137名	50回	1名	0名	水曜日
宮崎	455名	50回	4名	136名	水曜日
日笠山	239名	50回	4名	92名	水曜日
三軒地	330名	50回	4名	115名	火曜日
畑岡	286名	51回	1名	50名	火曜日
下野	83名	51回	2名	49名	土曜日
塩地	288名	52回	2名	31名	木曜日
無津	364名	52回	2名	52名	木曜日
大池	206名	52回	1名	49名	木曜日
久々原	296名	51回	2名	99名	土曜日
下野	83名	51回	2名	49名	土曜日
市場	329名	51回	1名	0名	土曜日
矢尾	332名	51回	0名	0名	土曜日
前潟	273名	52回	3名	12名	土曜日
下前潟	159名	52回	0名	0名	土曜日
舟本	380名	100回	0名	0名	火曜日、土曜日
小浜	760名	100回	0名	0名	火曜日、土曜日
頓行	973名	49回	0名	0名	土曜日
合計	8,334名	1,365回	49名	1,389名	

### 〔3〕暮らしの応援カフェの運営支援

#### (1) 要点

- ・ゴミ出しや買い物等の町民同士の支え合いの活動について、「暮らしの応援団」活動の状況の共有や福祉専門職から活動依頼の協議の他、活動に関する勉強会や現実的な生活支援活動を模索する茶話会を開催する。原則として隔月10日に開催。
- ∴新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、隔月予定したカフェは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、予定の半数の3回の開催に留まった。
- ∴前年度に本会事務局で導入したスマートフォンのSNS機能(LINE)を活用し、応援団員と常時情報共有ができる仕組みを構築しており、定例会の回数は減ったが、情報共有や活動調整は円滑に進んだ。

(2) 茶話会等開催実績

開催日／参加者	主な検討事項
令和3年 4月 9日(金) ／住民22名・専門職1名	・総会、勉強会(障がい者支援事業所の活動) ・活動報告、活動募集
令和3年 6月10日(木)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和3年 8月10日(火)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。
令和3年10月11日(月) ／住民18名・専門職1名	・定例会、買い物サロン新日程共有等 ・活動報告、活動募集
令和3年12月10日(金) ／住民21名・専門職2名	・定例会、LINEグループニックネーム一覧共有等 ・活動報告、活動募集・忘年会、試行活動報告・募集等
令和4年 2月10日(木)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。

(3) 参加者数

- 実参加者数：住民30名・専門職2名
- 延べ参加者数：住民64名・専門職3名

## 5. 福祉活動員活動の支援

### 〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 要点

- ・各自治会町内会から選出された「福祉活動員」80名で組織する「福祉活動員協議会」の事務局として、福祉活動員の活動支援を行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策で新規活動の見守り推進会議はすべて中止となったが、総会や定例会、交流会は、計画どおり開催できた。
- ・例年どおり「福祉マップ」の更新するとともに、昨年度実施できなかった民生委員協働の全地区友愛訪問や「年末大掃除」が実施でき、最低限の地域の高齢者世帯の状況把握や見守り支援活動をおこなうことができた。
- ・年間に渡り、積極的な見守り活動が出来なかったこともあり、期末アンケートでは、例年に比べ、近所づきあいや福祉活動の必要性の認識度がやや低かったが、今後の福祉活動に向けては、協力意識の高まりを感じられる結果となった。

(2) 定例会等開催実績

開催日／参加者等	活動区分	主な内容等(研修テーマ)
令和3年 4月 8日(木) ／10名	新任研修会	社会福祉協議会事業と福祉活動員の役割
令和3年 4月22日(木) ／39名	総会	活動計画・予算の確認、役員を選任
令和3年 5月25日(火) ／中止	見守り 推進会議	福祉マップ更新及び夏季一斉友愛訪問 熱中症予防／新型コロナ について
令和3年 7月15日(木) ／44名	定例会	見守り等に役立つ便利グッズや制度の紹介
令和3年 7月～ ／80名	実践活動	夏季友愛訪問活動 (訪問先：町内70歳以上高齢者世帯)
令和3年9月28日(火) ／中止	見守り 推進会議	地域の高齢者世帯の状況について

令和3年10月28日(木) /36名	定例会	身近な介護技術について
令和3年11月17日(水) /35名	交流会	グラウンドゴルフ交流会
令和3年12月1日(水)～ 13日(月)/10名	実践活動	年末大掃除活動 (活動先:75歳以上高齢者世帯等)
令和4年1月18日(火) /中止	見守り 推進会議	事例から考える地域共生社会
令和4年 2月 /中止	実践活動	冬季友愛訪問活動
令和4年 3月17日(木) /35名	定例会	今年度の振り返りと次年度活動について

### (3) 期末アンケート結果 [抜粋]

[設問] 近所づきあいや福祉活動の必要性に対する認識について	回答者数	回答率
大変重要と考えるようになった	9名	14.5%
必要性の認識が高まった	31名	50.0%
何となく必要性を感じた	19名	30.6%
必要性を感じない	2名	3.2%
未選択	1名	1.6%
[設問] 今後の福祉活動について	回答者数	回答率
できるだけ地区や町内の福祉活動に協力していきたい	6名	9.7%
要請があれば地区や町内の福祉活動に協力していきたい	15名	24.2%
できる範囲で近所づきあいを大切にしていきたい	41名	66.1%
あまり近所づきあいはしたくない	0名	0%
未選択	0名	0%

※アンケート回収率:75.5%(62名/80名)

## 6. 地区福祉活動の支援

### 〔1〕 高齢者給食サービス活動の支援

#### (1) 要 点

- ・独居や高齢者世帯、障がい者等を対象として、給食ボランティアグループがバランスのとれた食事とられあい交流の場を提供する。
- ・食材費等の助成や、活動を支援するためのアドバイスを行う。
- ・ボランティア同士の活動に関する情報共有を目的とした連絡会や衛生管理指導(チェック表の運用、衛生用品の支給等)を継続して行う。
- ・新型コロナウイルスの感染予防のため、県内の感染状況によっては活動を中止する時期も複数回発生したが、前年度から引き続き、会場で利用者に業者弁当を配布する形式に変更して活動を継続。
- ・コロナ禍における活動の検討とグループ間での情報共有を目的に連絡協議会を2回開催した。

## (2) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延べ実施回数	延べ利用者数	延べ提供者数
クローバー	20名	5名	14回	259名	84名
コスモス	18名	11名	12回	252名	78名
スプリング	14名	5名	14回	257名	94名
たんぽぽ	19名	9名	13回	200名	88名
マスカット	21名	5名	15回	530名	90名
ひまわり会	17名	6名	12回	277名	72名
スマイル若宮	30名	21名	14回	400名	172名
市場撫子の会	19名	7名	15回	396名	100名
合計：8団体	158名	69名	109回	2,571名	778名

## (3) 連絡会等開催実績

### ①第1回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和3年5月28日（金）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	8名（8グループ）
内 容	・協議（5月13日までの活動の情報交換、6月以降の活動再開について）

### ②第2回／給食ボランティア連絡協議会

開催年月日	令和3年6月25日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	8名（8グループ）
内 容	・協議（7月からの給食ボランティア活動について）

## 〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の支援

### (1) 要 点

- ・気軽にふれあい交流や仲間づくりができる場を提供する活動に対し、プログラム調整や活動費助成等の支援を行った。
- ・：昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛が影響したが、年間開催なしの団体が昨年より減少した。
- ・：助成金取り扱いについては、年4回以上を例外撤廃し支給。

### (2) サロン活動団体（合計24団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前潟	前潟公民館	前潟・下前潟	33	32	1	訪問活動等
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	14	2	1	季節行事
中山ふれあいサロンさつき会	中山集会所	中山	9	1	1	体操
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	38	6	2	体操、季節行事
弁天井戸端喫茶	弁才天公民館	弁才天	11	17	3	室内活動等
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	75	18	9	部会活動等



なしす会	無津公民館	無 津	0	0	0	
日笠山さくら会	日笠山公民館	日 笠 山	19	9	1	季節行事
喫茶とよく	頓行公民館	頓 行	26	15	2	創作活動等
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三 軒 地	49	10	4	創作活動等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩 津	136	33	6	創作活動、室内行事
サロン市場健康促進の会	床田遊園地市場公民館	市 場	0	0	0	
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久 々 原	0	0	0	
片田ふれあいサロン	片田公民館	片 田	19	3	1	清掃活動
舟本コミュニケーションクラブ	舟本早島	舟 本	14	3	1	講話
喜楽亭	大谷荘	若 宮	0	0	0	
ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽 島	0	0	0	
金田いきいきサロンにし	西コミュニティハウス	金 田	48	48	3	室内活動、創作活動
長津・畑岡ほっとサロン	いぶき荘	長津・畑岡	50	35	4	講話、創作活動
イトーピア早島サロン	イトーピア集会所	イトーピア	72	30	6	茶話会、創作活動、季節行事
サロン矢尾	矢尾公民館	矢 尾	0	0	0	
ニュー早島にこここサロン	ニュー早島荘	N早島	0	0	0	
下野のんびり友の会	下野公民館	下 野	0	0	0	
すまいるサロン小浜	3匹の子ブタ	小 浜	0	0	0	
合 計 / 延べ利用者数613人 / 延べ協力者数262人 / 実施回数45回						

(3) 助成金交付実績

86,100円(15団体)

### 〔3〕夏季一斉友愛訪問活動の実施

(1) 要 点

- ・70歳以上の方が居住する世帯及び年齢や同居の有無を問わず声かけが必要な要援護者を対象に、熱中症予防啓発と地域との関係づくりを目的に、民生委員・福祉活動員の協力を得て、全地区一斉の友愛訪問を行う。

∴新型コロナウイルスの感染拡大を受け、時期を遅らし、集約期間を延長しながら、2年ぶりに全地区で実施することができた。

(2) 活動実績

開催年月日	令和3年7月下旬から12月末
訪問対象者数	2,807人/28地区 ※令和3年4月1日時点で70歳以上の方
訪問活動者数	民生委員21名、福祉活動員80名
世帯実態概要	独居363名(世帯)、夫婦948名(474世帯)
見守りの必要性	必要263名、不要2,544名

## 〔4〕年末大掃除おたすけサービスの実施

### (1) 要 点

- ・75歳以上の高齢者世帯の方、または障がい者世帯の方へおたすけ員を派遣し、年末大掃除の負担軽減を図った。おたすけ員としては、民生委員・福祉活動員・地域のボランティア等多くの住民の方々に広く協力を求めた。
- ∴申込者数（前年度予定比▲6名）及び活動者数（前年度予定比▲6名）が前年度から減少したが、感染症対策を取りながら、2年ぶりに活動を実施することができた。

### (2) 活動実績

開催年月日	令和3年12月1日（水）から12月10日（金）
サービス実施世帯数	19世帯（高齢者世帯18件、障がい者1件）
おたすけ員協力者数	28名
おたすけ員協力者 内訳	民生委員10名、福祉活動員10名、暮らしの応援団6名、ボランティア1名、社協登録ヘルパー0名、社協職員1名

## 〔5〕地区福祉活動の支援

### (1) 要 点

- ・地区会合へ参加し、地区住民協働で自治会単位での福祉活動の活性化やあり方を検討した。また、その福祉活動の検討や活動に対し、「赤い羽根福祉のまちづくり助成事業」により、活動助成を行った。
- ・その他、サロン活動や給食サービス活動等へ訪問し、地区福祉活動の支援を行った。
- ∴従来、福祉活動モデル地区だった片田地区を含め3地区で福祉活動の検討や具体的な活動立案や試行活動の支援を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、思うように活動支援が行えなかった。
- ∴コロナ禍で、サロン活動等の地域交流行事が停滞したが、金田地区では、福祉部会役員と新たに「防災マップ」を作成することができた。
- ∴新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、給食サービス活動等の地域交流行事が停滞し、開催回数の減少に比例し職員の訪問回数が減少したが、従来の事務局及び居宅介護支援部署に加え、通所介護職員も訪問を開始した。

### (2) 活動実績

#### ①自治会の福祉活動支援（2地区）

○片田自治会（助成金額0万円）

- ・救急医療情報キットの更新（通年）

○金田自治会（助成金額10万円）

- ・移動支援活動の実施（通年）
- ・買い物支援活動の実施（通年）
- ・地区防災マップの作成

○ニュー早島自治会（助成なし）

- ・福祉活動の検討（12月）

#### ②職員訪問による地区福祉活動の支援

	事務局	居宅介護支援	通所介護	合計
訪問回数	28回	17回	2回	47回
実訪問職員数	5名	5名	2名	12名
延べ訪問者職員数	29名	28名	2名	59名

## 7. 福祉啓発（教育）の推進

### 〔1〕夏のボランティア体験の実施

#### (1) 要 点

- ・他人との新たな関係性をボランティア活動を通して経験することで、ボランティア活動に対する行動変容を促すことを目的に、中学生、町民の参加できるボランティア体験の場を夏季休暇中に調整、展開した。
- ∴新型コロナウイルス感染症の県内での感染状況を考慮し、感染症リスクが比較的少なく想定される屋外活動のボランティアや福祉ボランティア、収集ボランティアに活動先を絞って実施。4つの活動先に対して12名が参加した。

#### (2) 実施結果

体験期間	令和3年8月4日（水）から8月21日（土） ※夏季休暇期間
受入団体	5機関・団体（実受入：3機関・団体数）
協力団体	<福祉（教育）施設> 計3機関 早島町生涯学習課（中央公民館・そうさん広場）／早島町社会福祉協議会 <ボランティア団体> 計2団体 早島要約筆記サークル‘ぺんしる’／パソボラはやしま
体験者数	12名 <体験者内訳> 中学生11名、高校生1名
体験案内校	1校 <中学校> 計1校 早島中学校

### 〔2〕福祉教育への協力支援

#### (1) 要 点

- ・早島小学校から要請を受け、総合的な学習「ふくし」の導入として4年生を対象に出前福祉講座を実施した。
- ・早島中学校からは、総合的な学習の一環で、本会職員を対象とした障がい者に関するインタビューの要請を受け、適宜対応した。
- ∴今年度は、昨年度実施した「車いす体験」に加え、「聴覚障がい」、「視覚障がい」、「共同募金運動」をテーマに新規のプログラムを作成。事務局（地域福祉）職員と訪問介護職員で児童に提供するプログラム内容を検討しながら小学4年生に実施。
- ∴中学生からの障がい者に関する学習場面では、事務局、訪問介護、居宅介護の3部署職員合同で対応。高齢者や障がい者の介助方法や対応の質疑を行った。

#### (2) 実施結果

##### ①出前福祉講座「聴覚障がい」

開催年月日	令和3年6月22日（火）
開催場所	早島小学校ランチルーム
内 容	ジェスチャーゲーム、音なし動画の視聴、聴覚障がい当事者の動画の視聴
参 加 者	早島小学校4年生児童128名、本会職員3名（事務局、訪問介護）

②出前福祉講座「視覚障がい」

開催年月日	令和3年6月24日（木）
開催場所	早島小学校ランチルーム
内 容	目隠し・白杖を使用する模擬体験、当事者による講話
参加者	早島小学校4年生児童128名、本会職員4名（事務局、訪問介護）

③出前福祉講座「車いす体験」

開催年月日	令和3年6月28日（月）
開催場所	早島小学校体育館、校庭及び外周
内 容	車イス操作方法の説明、車イス使用による小学校外周の走行体験
参加者	早島小学校4年生児童128名、本会職員5名（事務局、訪問介護）

④出前福祉講座「共同募金運動」

開催年月日	令和3年10月4日（月）
開催場所	早島小学校ランチルーム
内 容	赤い羽根共同募金運動の歴史、募金の町内での使い道についての説明
参加者	早島小学校4年生児童128名、本会職員2名（事務局）

⑤インタビュー対応（中学生）

開催年月日	令和3年11月26日（金）
開催場所	早島町地域福祉センター会議室
内 容	障がい者の介助、支援方法について等のインタビュー対応、施設見学
参加者	早島中学校生徒7名、本会職員3名（事務局、訪問介護、居宅介護）

### 〔3〕コミュニケーション麻雀の普及推進

(1) 要 点

- ・ 多人数が楽しみ仲間づくりや介護予防活動に役立つ『コミュニケーション麻雀』の普及と新たな地域活動参加者（普及員）発掘を目的に月2回『楽しむ会』を開催。  
 ∴ 『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』を14回（前年度比▲4回）開催し、延べ107名（前年度比▲77名）が参加した。  
 ∴ 普及員の派遣は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、依頼はなかった。

(2) 実施結果

	普及行事名等	参加者数	備 考
4月	楽しむ会（2回）	19名	定例会
5月	楽しむ会（1回）	10名	定例会
6月	楽しむ会（1回）	5名	定例会
7月	楽しむ会（2回）	11名	定例会
8月	楽しむ会（中止）	0名	定例会
9月	楽しむ会（中止）	0名	定例会
10月	楽しむ会（1回）	9名	定例会
11月	楽しむ会（2回）	14名	定例会
12月	楽しむ会（1回）	17名	定例会
1月	楽しむ会（1回）	8名	定例会
2月	楽しむ会（中止）	0名	定例会
3月	楽しむ会（2回）	14名	定例会

## 〔4〕障がい者作品展の開催

### (1) 要 点

- ・障害者週間にあわせ、障がい者の方の作品展を開催し、町民に対し、障がい者福祉への理解を深める機会とした。
- ∴出展者数（前年度比5名）及び出展作品数（前年度比4作品）は、前年度より増加。

### (2) 実施結果

開催年月日	令和3年12月1日（水）から12月11日（土）
開催場所	早島町地域福祉センター
主 催	早島町社会福祉協議会
共 催	早島町身体障がい者福祉協会、早島つばさの会、ほのぼの会、難病の会 喜楽会
出展者数	30名（34作品）

## 〔5〕福祉映画会の開催

### (1) 要 点

- ・住民協働での個別ケアや福祉活動の活性化へ向けた機運をより高めていく機会として、福祉や介護・医療等の幅広い関連分野をテーマとした映画会を開催している。
- ∴新型コロナウイルスの流行による、感染者への差別が国内で発生していることを受け、元ハンセン病患者を題材とした映画の上映を通じて町民に意識づけを促すことを目的に作品を選定。

### (2) 実施結果

開催年月日	令和3年11月20日（土）
開催場所	早島町住民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール
主 催	早島町社会福祉協議会
共 催	早島町
協力団体	手話ボランティアいぐさ、はやしま朗読ボランティアグループ福来朗、早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、パソボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、コミュニケーション麻雀を広める会、運転ボランティアくるりん、給食ボランティアクローバー・コスモス・スプリング・たんぽぽ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場撫子の会、民生児童委員協議会、福祉活動員協議会、特別非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島保護司会、早島町更生保護女性会、わが町の暮らしの応援団、ほっとけんネット早島
映 画 名	「あん」（ハンセン病）
観客数	233名（入場整理券204枚、電子チケット20枚、当日発行整理券9枚） アンケート回収数（172名）

## 8. ボランティア活動の支援

### 〔1〕ボランティア保険の加入支援

#### (1) 要 点

- ・ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償するボランティア活動保険（実施主体：全国社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）の加入促進を図る。

∴前年度より加入者数は、個人加入（前年度比▲3名）、団体加入（前年度比▲7名）共に減少。

(2) 加入者数計：301名

◇個人加入：1名

◇団体加入：300名（26団体）

## 〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

(1) 要 点

・福祉ボランティア団体への活動支援と活動費助成を行った。

∴助成金申請時のボランティア数は前年度より1団体減少。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：117,000円（4団体）

①パソボラはやしま、②コミュニケーション麻雀を広める会、③はやしま朗読ボランティア福来朗、④運転ボランティアくるりん

## 〔3〕ボランティア活動に関する相談・調整

(1) 要 点

・町内の在宅生活者やボランティア団体、各種機関や団体から要請を受け、年間を通じて、福祉ボランティア等の活動調整を行う。

∴個人相談は、生活支援を行う「暮らしの応援団」へ調整。コロナ禍でも活動を行い、依頼世帯数（▲2世帯）は、前年度より微減も、定期活動の調整件数は、441件（+163件）と増加した。

∴団体相談は、様々な特技ボランティア個人や団体を調整。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてのサロン活動等の自粛で調整件数は昨年並み（前年度比+2件）。

(2) 調整件数

○個人相談（個人の生活を支援する人材の調整件数）

相談者（世帯数）	依頼事項等	調整内容	調整件数
生活困窮世帯（2世帯）	家屋内整理・植栽整備	生活支援ボランティアの派遣調整	2件
独居高齢者（14世帯）	ゴミ出し・買い物代行・庭・植栽整備等	生活支援ボランティアの派遣調整	441件
高齢者世帯（2世帯）	家屋内外の修繕	生活支援ボランティアの派遣調整	25件
障がい者世帯（0世帯）	-	生活支援ボランティアの派遣調整	0件
複合課題世帯（1世帯） ※複数の課題がある世帯	家屋内整理	生活支援ボランティアの派遣調整	1件
同居世帯（2世帯） ※同居者が作業困難	家屋等修繕・家屋外清掃	生活支援ボランティアの派遣調整	2件
合 計			21世帯/471件

※地区内の助け合い活動（福祉部会や組合、福祉活動員）に調整した世帯が別に2世帯。

※福祉有償運送事業（P.28）及び年末大掃除お助け活動（P.22）の調整数は除く。

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材や作業の調整件数）

相談元（団体数）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数
町内教育機関 （1団体）	授業への協力	福祉教育プログラム調整	4件

町内医療機関 (0団体)	つくし病棟での 本の読み聞かせ	朗読ボランティアの 派遣調整	0件
町内福祉施設 (0団体)	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	0件
地区老人クラブ (0団体)	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	0件
地区サロン活動 グループ (2団体)	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	4件
	送迎調整協力	運転ボランティアの 派遣調整	2件
給食ボランティア グループ (7団体)	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	45件
	送迎調整協力	運転ボランティアの 派遣調整	154件
福祉当事者グループ (10団体)	プログラム企画協力	講師等ボランティアの 派遣調整	2件
合 計			20団体/211件

※本会デイサービスセンターが調整をした件数は除く。通所介護事業(P.32)参照。

#### 〔4〕 ボランティア活動の人材発掘

##### (1) 要 点

- ・福祉活動員や地区サロン活動者、給食や福祉ボランティアグループ等、流動的な町内の福祉活動の担い手や後継者の確保に向けた人材発掘を行う。
- ・特定非営利活動法人移動ネット岡山と共催開催する「福祉有償運送事業運転者講習会」への町民の参加呼びかけや、事務局を務める「暮らしの応援団」における活動への参画の呼びかけを行い、それぞれ活動者が増加した。

##### (2) 実施結果

分 野	具体的取組み	新規所属団体	新規人数
福祉活動員	自治会への推薦依頼	福祉活動員協議会	16名
福祉ボランティア	福祉有償運転者講習会開催	運転ボランティアくるりん	3名
生活支援活動者	活動呼びかけ	暮らしの応援団	2名
			合計21名

## 9. 福祉団体活動の支援

### 〔1〕 福祉当事者団体活動の支援

#### (1) 要 点

- ・当事者団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、前年度に活動を見合わせていた団体が多く、活動助成額合計は大幅に減少（前年度比▲128,000円）。1団体のみが助成金の申請を行う結果となった。

#### (2) 実施結果

◆活動助成額合計：36,000円（1団体）

- ①早島つばさの会（知的障がい児者の親の会）

## 〔2〕福祉団体活動の支援

### (1) 要 点

- ・福祉団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ∴前年度と助成団体及び各団体の会員数に変化はなく、活動助成額合計も前年度と同額の助成となった。

### (2) 実施結果

◆活動助成額合計：172,000円（2団体）

- ①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

## 10. 在宅福祉サービス事業の実施

### 〔1〕福祉有償運送事業の実施

#### (1) 要 点

- ・要介護高齢者や障がいがある方のうち、自力で公共交通機関を利用できない方を対象に、有償（タクシー料金の概ね半額）で、ご自宅から目的地までの送迎外出支援を「福祉車両」によりを行う。
- ・運転ボランティアの人材の確保が求められている。今年度、運転者講習を修了した1名が来年度より運転ボランティアとして活動する。

#### (2) 利用状況等実施結果

◆実利用者数 57人（前年度比▲29人）

◆延べ運行回数115回（前年度比▲79回）

#### (3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	運行回数	利用料収入（円）
4月	8人	14回	15,820円
5月	2人	4回	2,675円
6月	5人	9回	23,700円
7月	4人	8回	6,685円
8月	2人	4回	5,610円
9月	3人	7回	14,475円
10月	4人	11回	13,295円
11月	7人	17回	22,675円
12月	6人	13回	8,795円
1月	4人	7回	5,380円
2月	6人	6回	7,860円
3月	6人	15回	11,165円
合 計	57人	115回	138,135円

### 〔2〕福祉用具貸出サービスの実施

#### (1) 要 点

- ・介護が必要な状態にある方へ外出や通院等を目的に原則2週間を限度に介護用具を貸し出す。
- ∴実利用者数が53人（前年度比+15人）と前年度より増加。本年度から延長貸出を可能としたことで、合計貸出件数は98件と減少（前年度比▲64件）。
- ∴高齢者への貸し出しが大半であるが、60歳以下の利用者が前年度より7人増加。



## (2) 利用実績

### ①実利用者数

53人（前年度比+15人）

### ②貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす（自走用・介助用・リクライニング）	64件
スロープ	6件
ポータブルトイレ	13件
歩行器（シルバーカー含む）	3件
吸引器	1件
家庭用コードレスチャイム	2件
シャワーチェア（浴槽台含む）	4件
杖	4件
合 計	98件（前年度比▲64件）

## 1 1. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

### 〔1〕生活福祉資金貸付の実施

#### (1) 要 点

- ・低所得者世帯の経済的自立や身体障がい者世帯の生活意欲の助長促進及び、在宅福祉、社会参加の促進のために必要な資金を貸付けるために、生活福祉資金貸付事務（実施主体：岡山県社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で収入が減少した方を対象に、前年度から引き続き特例貸付の相談受付業務を実施。
- ∴通常貸付の相談件数3件の内、新規貸付となったケースは0件。
- ∴特例貸付の相談件数128件の内、新規貸付となったケースは128件。

#### (2) 対応実績（令和4年3月31日現在）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	0件	0件	0件	0件
福祉資金	3件	0件	0件	0件
教育支援資金	0件	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件	0件
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1件
緊急小口資金（特例貸付）	40件	40件	111件	1件
総合支援資金（特例貸付・初回）	48件	48件	88件	0件
総合支援資金（特例貸付・延長）	0件	0件	32件	0件
総合支援資金（特例貸付・再貸付）	46件	46件	56件	0件
合 計	137件	134件	287件	2件

## 〔2〕日常生活自立支援事業の実施

### (1) 要 点

- ・在宅で生活しており、自分の判断で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を適切に行うことが困難な方をサポートする本事業（実施主体：岡山県社会福祉協議会）の相談対応や援助業務を行った。
- ・：年度当初は4名の利用となっていたが、7月から転居に伴い3名に減少。利用者別に毎月2回から4回の援助訪問や相談対応を実施。

### (2) 対応実績（令和4年3月31日現在）

援助区分	新規相談	新規契約	援助中	契約解除
認知症高齢者	1件	0件	0件	0件
知的障がい者	0件	0件	1件	0件
精神障がい者	0件	0件	1件	0件
その他	0件	0件	1件	0件
合 計	0件	0件	3件	0件

## 1 2. 地域福祉センターの管理運営

### 〔1〕施設利用の促進

#### (1) 要 点

- ・町内の地域福祉活動拠点として、福祉関係者を中心にセンター内の施設（4部屋、開放フロア）の貸し出しと管理運営を行った。
- ・：前年度より施設全体で利用回数、利用者数は減少（調理実習室▲161人、会議室▲344人、プレイルーム▲82人、開放フロア▲20人）。ボランティア室のみ増。新型コロナウイルス感染症拡大予防が要因。

#### (2) 団体利用実績

施設名	利用回数	利用人数	平均利用人数
ボランティア室	33回	154人	4.6人
調理実習室	16回	178人	11.3人
会議室	147回	2,133人	14.5人
プレイルーム	180回	712人	8.9人
開放フロア	8回	40人	5.0人

#### (3) 個人利用実績（プレイルームのみ）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、貸出を中止した。

## 〔2〕 備品・用具の貸出

### (1) 要 点

- ・町内の地域福祉活動の活性化のため、福祉活動に役立つ備品・用具の貸出しを行った。
- ∴前年度と比較して貸出件数の総数に大きな変動は見られなかった（前年度比0件）。
- ∴利用団体は、サロン関係者及び行政関係者、法人連携による保育園等。

### (2) 利用実績

援助区分	合 計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	18件	12件	4件	2件
機材	9件	6件	2件	1件
その他	3件	2件	1件	0件

## 〔3〕 施設改修の実施

### (1) 要 点

- ・老朽化する施設内の空調設備の予防修繕、自動火災報知機を取替工事等を実施した
- ∴設備の予防修繕は継続して計画的に実施していく必要がある。

### (2) 改修実績

- ・空調設備の修繕（1機）
- ・自動火災報知機を取替工事（1カ所）
- ・早島町地域福祉センター館内トイレ交換工事（3カ所）
- ・デイルーム冷媒ガス漏れ修繕
- ・早島町地域福祉センター館内ブラインド交換工事（2カ所）

## Ⅲ. 介護サービス事業

### 1. 居宅介護支援事業

#### 〔1〕 介護保険-居宅介護支援事業の実施

##### (1) 要 点

- ・利用契約を結んだ要介護状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の居宅サービス計画の作成や事業者等との調整を行う。
- ・サービス利用以外の時間帯にも安心した在宅生活が過ごせるよう、介護保険制度以外にも民生委員・福祉活動員と個別に情報共有を行うとともに、住民による生活支援活動試行への積極的な誘導を図る。
- ∴年間通しての件数低迷は、職員の異動の影響で新規受け入れを中断した期間があったことで、新規相談の件数が減った。前年度より月間平均請求件数は減少（前年度比▲13件）。黒字確保のため、新規受け入れが出来るように各職員の業務量の調整や、必要に応じて広報活動を行う必要がある。
- ∴利用者アンケート調査の結果は、ケアマネジャーの言動・対応、事業所の対応について「良い・満足」との回答が9割以上だった。（回答率79%）
- ∴個別支援においては、民生委員や地区福祉活動の担当者らと適宜連携を図った。見守り推進会議で支援事例を発表する予定だったが、コロナ禍で延期となった。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：43件（前年度比▲2件）
- ◆年間契約解除利用者：65件（前年度比+9件）
- ◆月間平均請求件数：157件（前年度比▲13件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	164件	2,581,240円
5月	166件	2,617,360円
6月	165件	2,598,800円
7月	165件	2,609,740円
8月	163件	2,554,900円
9月	159件	2,483,320円
10月	156件	2,443,960円
11月	156件	2,450,020円
12月	152件	2,378,540円
1月	151件	2,376,930円
2月	146件	2,301,780円
3月	146件	2,319,060円
合計	1,889件	29,715,650円

〔2〕介護保険-介護予防居宅介護支援事業の実施【早島町受託事業】

(1) 要点

- ・利用契約を結んだ要支援状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護予防・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の介護予防支援サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ∴昨年度に続き、介護支援専門員1名が計画作成を担当。介護予防支援業務マニュアル作成を更新しながら、業務の標準化を図った。
- ∴契約解除利用者13件のうち、7件は要介護移行。事業縮小のため、2件は早島町地域包括支援センターへ移管、他居宅介護支援事業所へ変更となる。その他は永眠。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：9件（前年度比+1件）
- ◆年間契約解除利用者：13件（前年度比+3件）
- ◆月間平均請求件数：40.1件（前年度比▲5.1件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	40件	175,600円
5月	38件	166,820円
6月	38件	166,820円
7月	41件	181,610円
8月	41件	178,610円
9月	42件	184,380円
10月	39件	170,860円

11月	40件	173,870円
12月	42件	190,010円
1月	41件	179,630円
2月	40件	175,240円
3月	40件	184,240円
合計	482件	2,127,690円

※本事業担当介護支援専門員の人件費を町受託金で受けており、本事業収入は、国民健康保険団体連合会から早島町へ給付される。

## 2. 通所介護事業

### 〔1〕介護保険-通所介護事業の実施

#### (1) 要 点

- ・通所介護サービスの利用により、介護が必要な高齢者の心身の機能の悪化を防止するとともに、利用者が以前と変わらず自宅で生活でき、趣味活動や人との交流のある生活を維持できるよう支援する。
- ・介護をしている家族の心身の負担を軽減する。
- ∴新規利用者が短期間で利用終了となるケースが多かった。延べ人数の大幅な減少があった。介護度の高い利用者や利用回数の多い利用者の終了が続いた。以上のことに因る減収。
- ∴新型コロナウイルス感染症対策として、イベントやカラオケ、外部ボランティアの慰問は中止したが創作活動を年間通じて提供できた。また、デイルームや浴室の壁面に季節にちなんだ利用者の作品を展示し、作品を発表する場を作ると共に季節感を出すことができた。
- ∴アンケートによる項目ごとの満足度調査では、送迎 95%、食事 89%、運動 62%、創作活動 66%が満足との回答であった。またデイサービスを利用したことによる変化としては「元気になった、楽しそうにしている」が最も多く、次いで「介護負担が減った」との回答であった。(回答率 84%)

#### (2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 20人（前年度比+5人）
- ◆年間延べ利用者数： 6,573人（前年度比▲1,154人）

#### (3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26日	55名	623名	23.9	4,344,719円
5月	26日	56名	611名	23.5	4,228,968円
6月	26日	49名	592名	22.7	4,181,144円
7月	27日	53名	588名	21.7	4,111,742円
8月	26日	50名	555名	21.3	4,005,344円
9月	26日	52名	559名	21.5	3,951,546円
10月	26日	49名	546名	21.0	3,837,141円
11月	26日	51名	561名	21.5	3,991,195円
12月	24日	52名	540名	22.5	3,879,859円

1月	24日	48名	452名	18.8	3,251,906円
2月	24日	43名	430名	22.2	3,056,093円
3月	27日	45名	516名	19.1	3,707,230円
合計	308日	—	6,573名	21.3名	46,546,887円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

※収入には、食費や創作材料代等実費は含まず。

## 〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

### (1) 要 点

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対して、利用者が要介護状態になることを予防し、心身ともに自立した生活を維持できるよう支援する。
- ・高齢者を支える家族の生活を支援する。
- ∴年間の利用者16人中13人（8割）が要介護状態になることを予防できた（要支援の介護度が維持できた）。

### (2) 利用状況等実施結果

◆年間新規利用者：7人（前年度比▲2人）

◆年間延べ利用者数：720人（前年度比+152人）

### (3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サビ入月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26日	12名	66名	2.5	297,234円
5月	26日	13名	63名	2.4	326,934円
6月	26日	12名	64名	2.4	308,286円
7月	27日	13名	67名	2.4	326,934円
8月	26日	10名	49名	1.8	270,990円
9月	26日	11名	57名	2.1	272,313円
10月	26日	12名	60名	2.3	288,594円
11月	26日	13名	70名	2.6	324,540円
12月	24日	10名	53名	2.2	238,239円
1月	24日	10名	54名	2.2	253,449円
2月	24日	10名	52名	2.1	253,449円
3月	27日	12名	65名	2.4	281,169円
合計	308日	—	720名	2.3名	3,442,131円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

※1日平均人数の合計は、年間延べ人数を開所日数で除した数値を記載。

※収入には、食費や創作材料代等実費は含まず。

### 〔3〕介護保険外サービス事業の実施

#### (1) 要 点

- ・利用登録者を対象に、社会参加の促進と生き甲斐づくりを目的に、介護保険外の事業として、長期入院者等が一時帰宅した際の介護保険外デイサービスの提供と、要支援に該当する者の入浴サービスの提供と、年に1回、日帰り旅行を実施する。
- ∴介護保険外のデイサービス及び入浴サービスの利用はなかった。
- ∴日帰り旅行は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から実施せず。

#### (2) 活動実績

○実績なし

### 〔4〕ボランティア協力（受入）の実施

#### (1) 要 点

- ・演芸ボランティアを始め、季節行事や日常のプログラム支援としてボランティアの受け入れをし、利用者がデイサービスで過ごす時間の充実を図る。
- ・ボランティアの受け入れにより、住民と利用者との交流の場としての役割を担う。
- ・ボランティア活動を希望する住民や学生を受け入れ活動の場を提供する。
- ∴新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、外部からの立ち入りを制限し、予定していた慰問やイベントを中止した。県内での感染症流行状況を見ながら再開も検討したが結果年間通じてデイルーム内で活動するボランティアの受け入れはしなかった。

#### (2) 実施結果

新規協力はなし。個人2名。

◇ボランティア来館数

月	プログラム提供		行事補助 (延べ人数)	ボランティア体験 (延べ人数)
	個人活動	団体数		
4月	2名	なし	0名	0名
5月	0名	なし	0名	0名
6月	0名	なし	0名	0名
7月	2名	なし	0名	0名
8月	0名	なし	0名	0名
9月	0名	なし	0名	0名
10月	2名	なし	0名	0名
11月	2名	なし	0名	0名
12月	0名	なし	0名	0名
1月	0名	なし	0名	0名
2月	0名	なし	0名	0名
3月	0名	なし	0名	0名
合計	0名	なし	0名	0名

◇個人ボランティアの活動内容（有償の活動は除く）

活動内容	活動人数
畑や花の手入れ	2名

### 3. 訪問介護事業

#### 〔1〕介護保険-訪問介護事業の実施

##### (1) 要 点

- ・要介護状態になっても、利用者の望む暮らしができるよう、訪問により心身の状況に応じた身体介護（入浴、排泄、食事の援助等）や生活援助（調理、掃除、買い物等）、日常生活全般の援助を行った。
- ∴新規利用者16件に対し、死亡、転居等のサービス終了が11件あった。特に身体介護で関わっていた利用者のサービス終了が影響し、収入が前年度比で1,036千円減収となった。
- ∴サービス提供可能時間帯を割り出し一覧表にして毎月配付したが、要介護の新規利用者は思うように増えなかった。新たにチラシや営業活動を行う等の具体的対策が必要。

##### (2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 16件（昨年度比 ±0件）
- ◆年間延べ利用者数： 353人（昨年度比 ▲59名）
- ◆年間延べ訪問回数： 4,443回（昨年度比▲192回）

##### (3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	31名	336回	276.00時間	1,105,120円
5月	30名	389回	303.90時間	1,258,770円
6月	27名	389回	310.75時間	1,281,580円
7月	34名	429回	341.50時間	1,371,080円
8月	29名	432回	345.52時間	1,332,470円
9月	30名	405回	328.00時間	1,243,360円
10月	31名	413回	329.00時間	1,248,560円
11月	30名	333回	277.75時間	1,049,670円
12月	27名	353回	293.75時間	1,008,330円
1月	29名	375回	302.75時間	1,168,220円
2月	31名	308回	251.75時間	996,420円
3月	24名	281回	231.00時間	939,740円
合計	353名	4,443回	3,591.67時間	14,003,320円

#### 〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

##### (1) 要 点

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者を対象に、自立に向けた生活機能の向上を目的とした支援を行った。
- ∴新規利用者及び延べ利用者数は減っているが、週2回又は3回利用の利用者が若干増えたため収入が前年度比93千円増加となった。
- ∴引き続き早島町地域包括支援センターに確認しながら新規利用者を受けていきたい。

##### (2) 利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 1件（昨年度比▲7件）
- ◆年間延べ利用者数： 219名（昨年度比▲3名）
- ◆年間延べ訪問回数： 1,569回（昨年度比+17回）



(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	19名	138回	120.50時間	433,600円
5月	20名	138回	120.50時間	448,750円
6月	19名	143回	124.25時間	448,780円
7月	19名	142回	123.50時間	433,600円
8月	20名	145回	125.25時間	461,660円
9月	19名	142回	123.50時間	433,600円
10月	18名	121回	105.00時間	420,300円
11月	17名	124回	108.75時間	394,460円
12月	16名	116回	103.25時間	380,600円
1月	16名	106回	94.25時間	377,050円
2月	17名	108回	95.00時間	396,660円
3月	19名	146回	126.25時間	522,830円
合計	219名	1,569回	1,370.00時間	5,151,890円

〔3〕 介護予防・日常生活支援総合事業-生活支援事業の実施

(1) 要点

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)の対象者に、自立に向けた生活機能の向上を目的とした支援を行った。  
 ∴利用者なし。報酬単価上、利益が全くない事業であるが、必要があれば対応する。

(2) 利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0件 (昨年度比 ▲1件)
- ◆年間延べ利用者数： 0名 (昨年度比 ▲5名)
- ◆年間延べ訪問回数： 0回 (昨年度比 ▲34回)

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	0名	0回	0時間	0円
5月	0名	0回	0時間	0円
6月	0名	0回	0時間	0円
7月	0名	0回	0時間	0円
8月	0名	0回	0時間	0円
9月	0名	0回	0時間	0円
10月	0名	0回	0時間	0円
11月	0名	0回	0時間	0円
12月	0名	0回	0時間	0円
1月	0名	0回	0時間	0円
2月	0名	0回	0時間	0円
3月	0名	0回	0時間	0円
合計	0名	0回	0時間	0円

## 〔4〕介護保険外サービス事業の実施

### (1) 要 点

- ・介護保険制度適用外で、日常生活に援助が必要とする方に、介護保険制度を同様のサービス（家事援助、身体介護）に加え、制度では行えないサービス（見守りを兼ねた話し相手等）を行い、安心して日常生活を営む事が出来るよう援助を行った。
- ∴定期利用者数は変化ないが、随時利用の新規利用者が6名あった。介護保険制度で行えないサービスを介護保険外サービスで補うことで前年度比77千円の増収になった。
- ∴住民主体の見守り活動（民生委員や福祉活動員等）や生活支援活動（暮らしの応援団）と連携し、役割分担をし、専門性の必要な利用者の方を重点的に支援していきたい。

### (2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 3件（昨年度比▲3件）
- ◆年間延べ利用者数： 92名（昨年度比+22名）
- ◆年間延べ訪問回数： 188回（昨年度比+37回）

### (3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収 入
4月	5名	12回	9.5時間	24,035円
5月	6名	12回	10.5時間	26,301円
6月	8名	17回	15.5時間	38,676円
7月	9名	19回	17.5時間	46,387円
8月	8名	22回	19.5時間	48,785円
9月	8名	21回	17.5時間	44,044円
10月	10名	21回	20.0時間	51,634円
11月	7名	19回	17.0時間	45,045円
12月	8名	21回	17.0時間	43,120円
1月	10名	22回	20.0時間	52,470円
2月	6名	16回	12.5時間	31,669円
3月	7名	23回	18.5時間	46,728円
合 計	92名	225回	195.0時間	498,894円

## 〔5〕障がい者総合支援-居宅介護事業の実施

### (1) 要 点

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助・通院介助等の日常生活全般の援助を行った。
- ∴サービス提供可能時間帯を割り出し一覧表にして毎月配付した結果、新規利用者が増えた。また、サービスの追加も影響し、収入が前年比で129千円増加となった。
- ∴近年の傾向として特に精神障害の利用者の需要が増えている。引き続き内部研修を行い障害特性の習得をしていく必要がある。

### (2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 7件（昨年度比±6件）

◆年間延べ利用者数： 114名（昨年度比+14名）

◆年間延べ訪問回数： 949回（昨年度比▲81回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	9名	91回	14.00	47.25	35.5	96.75	296,670円
5月	8名	68回	11.00	46.25	21.0	78.25	248,470円
6月	8名	62回	14.00	35.50	15.25	64.75	229,520円
7月	8名	66回	16.00	45.00	16.00	77.00	250,610円
8月	8名	60回	11.00	42.50	19.00	72.50	233,800円
9月	8名	82回	14.00	43.50	16.00	73.50	239,090円
10月	9名	62回	5.00	43.00	21.50	69.50	228,920円
11月	9名	81回	12.00	46.00	20.50	78.50	250,480円
12月	10名	84回	12.00	42.00	33.50	87.50	266,580円
1月	12名	82回	15.00	43.75	32.00	90.75	275,580円
2月	12名	68回	13.00	43.00	25.25	81.25	249,330円
3月	13名	143回	14.00	99.00	30.00	141.50	481,090円
合計	114名	949回	151.00	576.75	285.50	1011.75	3,250,140円

〔6〕障がい者総合支援-重度訪問介護事業の実施

(1) 要 点

・総合支援法の趣旨に沿って、重度の障がいにより行動上著しい困難がある方に対し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助等の日常生活全般の援助を行った。

∴現行の利用者の8月に永眠され、それ以降の新規利用者はなかった。

∴痰吸引の有資格者がいないことと、長時間の利用者に対する対応が現状の人員では困難であるが、出来る範囲での新規利用は受け入れる方向。

(2) 利用状況等実施結果

◆年間新規利用者： 0件（昨年度比±0件）

◆年間延べ利用者数：5名（昨年度比▲7名）

◆年間延べ訪問回数：21回（昨年度比+29回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	1名	5回	10.00	0.00	0.00	10.00	22,890円
5月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,310円
6月	1名	4回	8.00	0.00	0.00	8.00	18,310円
7月	1名	5回	10.00	0.00	0.00	10.00	22,890円
8月	1名	3回	6.00	0.00	0.00	6.00	13,730円
9月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
10月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円

11月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
12月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
1月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
2月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
3月	名	4回	0.00	0.00	0.00	0.00	0円
合計	5名	21回	42.0	0.00	0.00	42.0	96,130円

## 〔7〕障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）の実施

### （1）要 点

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、安全に外出できるよう障がいの特性・心身の状態に配慮しながら移動（外出）支援を行った。
- ・利用時間の延長に柔軟に対応したことにより収入が前年度比9千円増加となった。
- ・報酬単価が低い為、収益につながりにくいことが課題である。

### （2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0名（昨年度比 ±0名）
- ◆年間延べ利用者数： 26名（昨年度比 +1名）
- ◆年間延べ訪問回数： 205回（昨年度比+19回）

### （3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	2名	17回	26.5	0.0	0.0	26.5	39,750円
5月	2名	11回	23.0	0.0	0.0	23.0	34,500円
6月	2名	18回	30.0	0.0	0.0	30.0	45,000円
7月	2名	19回	26.0	0.0	0.0	26.0	39,000円
8月	2名	12回	19.5	0.0	0.0	19.5	29,250円
9月	2名	15回	20.5	0.0	0.0	20.5	30,750円
10月	2名	19回	32.5	0.0	0.0	32.5	48,750円
11月	3名	25回	43.0	0.0	0.0	43.0	67,750円
12月	2名	20回	33.5	0.0	0.0	33.5	50,250円
1月	3名	16回	26.0	0.0	2.0	28.0	42,000円
2月	2名	14回	24.0	0.0	0.0	24.0	36,000円
3月	2名	19回	30.0	0.0	0.0	30.0	45,000円
合計	26名	205回	324.5	0.0	2.0	326.5	508,000円